

「10月です。充実の秋を目指します。」

<南風 第6回 10月>

10月に入り、今年の「異常に暑い夏」もようやく過ぎ去るとともに、秋の気配を肌で感じる事ができるようになってきました。南っ子たちも、ようやく体育の授業や休み時間に元気よく活動ができるようになってきました。

先日、久しぶりに体育館で全校朝礼を行いました。みんな、静かに体育館に集合でき、しっかりと話を聞くことができました。朝礼では以下のような話をさせていただきました。

今日は「言葉の力」について考えてみましょう。

先日、草刈りをしていたら、「がんばってください」「ごろうさまです」「ありがとうございます」という言葉を4年生からかけてもらい、とてもうれしく感じました。そして「もっとがんばろう」と思いました。

ことわざに「言葉には心が宿る」というものがあります。

言葉はただの音や文字ではなく、話す人の気持ちそのものだ、という意味です。

たとえば、同じ「ありがとう」でも、心をこめて言うのと相手は温かい気持ちになります。けれど、いやいや言うのと、むしろ冷たく感じてしまいますよね。

校長先生は以前に、こんな詩を聞いたことがあります。

ことばは 花にもなる

ことばは 石にもなる

たった一言が、人の心に花を咲かせることもあれば、石のように重くぶつかって傷つけてしまうこともある、という意味です。言葉には目に見えないけれど、人やまわりの空気を変える不思議な力があるんですね。では、みなさんの学校生活の中で考えてみましょう。

掃除の時間、だれかがサボっているように見えたときに、「ちゃんとやれよ!」と言うのと、「いっしょにやろうよ」と声をかけるのとでは、どちらが心に花を咲かせるでしょうか。

テストで失敗した友だちに「まだそんなところもできないの?」と言うのと、「次はいっしょに勉強しようよ」と言うのとでは、どちらが勇気を与えられるでしょうか。

言葉は、その場の空気をつくります。石のように冷たくすることもできれば、花のように明るく、温かい空気に変えることもできます。

言葉は消えないで心に残ります。だからこそ、大切に使っていきたいものです。

だからこそ、みなさんをお願いします。言葉を口にするときに、少しだけ考えてみてください。

「この言葉で、友だちは元気になれるだろうか?」

「この言葉は相手の心に花を咲かせるだろうか?」

みなさん一人ひとりの言葉が、南小学校をもっと温かく、笑顔のあふれる場所にしていきます。

どうか今日からも、“花のような言葉”をたくさん届けてください。よろしくお願いします。

まもなく、前期も終わります。令和7年度の後半戦の素晴らしいスタートが切れるように職員一同全力で南っ子に向き合っていきたいと思います。ご支援・ご協力よろしくお願いします。